

町長の行政報告



池田町長

総合政策課の新設

町民の皆さんに少しでも満足していただける町づくりを展開するため、総務課の企画係を独立させ、総合政策課の新設を提案した。総合政策課で政策の企画立案などに加え、迅速かつ的確に業務が執行できる体制づくりや、全体を見据えながら、戦略的で効率的な組織のあり方も追求していく。

高知西バイパスの状況

鎌田インターから波川間は、現在4件の工事を推進しており、延伸を進めても

らうとともに、供用している区間についても安全性・利便性の向上、環境対策に努めてもらっている。

超高速ブロードバンド未整備地区への対応

未整備地区全域を整備するという前提で、見積もりを依頼しているが、半年ほどかかるとの回答である。現在は、整備エリアが限定された場合を想定して、携帯電波の速度テストを各地区で実施している。

情報格差の解消に向けて、超高速ブロードバンド整備に鋭意努力するとともに、総務省や県などにも働きかけていく。

第10回高知国際版画トリエンナーレ展及び〈夜の紙博〉開催

10月7日から12月3日までトリエンナーレ展が紙の

博物館で開催され、前回展を上回る多くの方の来場があった。また11月23日には相本神社の秋の大祭と合わせて「夜の紙博 和紙と灯りのアート展 with トリエンナーレ展」「kami祭」などが開催され、紙の博物館を拠点に、紙のまちを楽しんでもらおうと、食、紙、観光の様々なおもてなしが各種団体により繰り広げられ、町全体で盛り上げに協力してもらった。

追手前高等学校吾北分校の存続について

高知県教育委員会で「県立高等学校再編計画」の後期計画（平成31年度～35年度）策定作業が進められている。

入学生の減少に危機意識を持つ吾北分校について、実りある意見を県教委協議会に上申し、地域の経済・産業・文化の活性化を展望した新たな分校の再編計画を作り出してもらう。

国民健康保険制度改革に向けた県との協議状況

11月7日、市町村国民健康保険事業運営協議会において、県に財政運営が移管される平成30年度の国保運営方針が示された。

それによると、県全体の医療費を賄うため、県が市町村ごとに納付金額を決定することや、医療水準を反映すること、急激に税率を上げないよう激変緩和措置などが盛り込まれた。

前町長に対する損害賠償請求について

9月21日、計117万2014円、前町長から賠償額の支払いが完了。訴訟の原告に弁護士費用として179万円を11月20日支払った。

今後は原告側からの請求に基づき、裁判所から裁判費用の通知があるものと考えるが、当該支払いが完了したら、本件訴訟に関する一連の事務については完了する。

宇治川流域における浸水対策の進捗状況

宇治川排水機場のポンプ増設は、平成30年度末の完成を目標に進めてもらっている。「水庄函路工事」に関連するとさでん交通の電車軌道及び八代通り電停の仮移設は、12月21日の始発便より切り替わり、その後、工事着手と聞いている。

西浦5区宇治川右岸地区の西浦ポンプ場については、平成29年11月に施工業者が決定し、平成31年度末の完成予定となっている。



西浦ポンプ場起工式